

説明責任が機能しない
「人治の国」のフシギな選挙

中国的農村部では直接選挙が行われている。問題が山積する中国の農村行政は、選挙を通じて透明度を上げられるのか。

UCLA 政治学部博士候補生 ... 武内宏樹

1 980年、広西チユワ
ン族自治区の小さな村
で歴史的な出来事が起つた。85戸の農民が参加して選挙が行われ、自らの手で村民委員会のメンバーを選んだのである。毛沢東時代の人民公社制度は70年代にはすでに多くの農村で崩壊。空洞化した行政機能を回復させることができ急務となっていた。以来、法律の整備もあり、農村選挙は全国のほとんどの村で行われるようになった。

二つのエピソードを紹介しよう。選挙を1週間後に控えた湖南省の農村での話。選挙を監督する立場にあるR鎮政府の幹部である劉氏（仮名）に、選挙運動の過程で遊説、演説などはどうのように行われるかを聞いてみた。

ところが、劉氏は得意げに、「われわれの鎮では演説などで、腐敗も起こらない。演説なきところに腐敗はない」と

用しない。D村の王氏は選挙の前にす
るこになつてゐる。だが、事実上は一つ上の行政単位で
ある郷鎮政府の党委員会の任命による。この二つの組織間
の力関係は明白で、党支部が
村民委員会の上に位置する。
つまり共産党の組織が選挙
によって選ばれた組織より上
位にある。それぞれの組織は
3人から7人で構成され、同じ人物が双方の組織に名を連
ねることも珍しくない。

選挙で選ばれる村長より 共産党支部書記が止立

背景を理解するため、中国農村の行政機構を簡単に紹介しておこう。各村には村民委員会と共産党支部という二つの組織が存在。村民委員会は村民の選挙で選ばれるのに対しして、党支部のメンバーは村の党員の選挙によつて選ばれ

事実上は一つ上の行政単位である郷鎮政府の党委員会の任命による。この二つの組織間の力関係は明白で、党支部が村民委員会の上に位置する。つまり共産党の組織が選挙によって選ばれた組織より上位にある。それぞれの組織は3人から7人で構成され、同じ人物が双方の組織に名を連ねることも珍しくない。

D村の王氏は選挙の前にすでに党支部書記（党支部）として村の行政機構のトップにいた。中国の農村選挙では本人の意思と関係なく、村民の推薦があれば立候補者となる。小規模な農村では村民全員がお互いに知り合いであり、誰が村のリーダーにふさわしいかは政策を評価するまでもなく村民は判断できるのである。だから、演説がなく

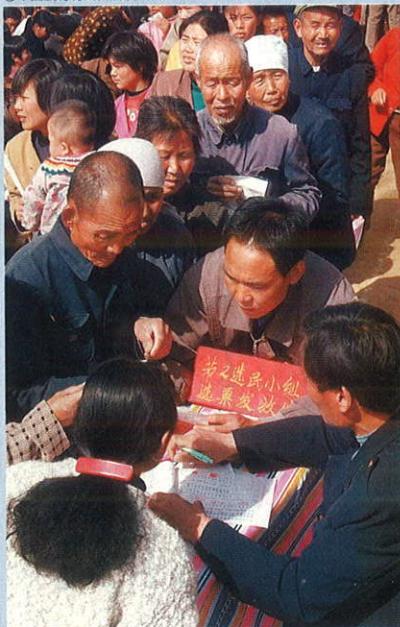
ても問題にならないのだ。
このような人物評価に基づく農村選挙は、村民誰もが認める能力のある人物（能人）がいる場合はうまく機能する。D村のようだ。党支書が能人の場合、選挙で党支書が村長に選ばれることがよくある。また、沿海部の工業化した農村では、行政能力のある地元企業家が入党、村長と党支書を兼ねるケースも多い。問題は党支書に行政能力がない場合（さらに、多くの場合は腐敗している）だ。

党支書は選挙で選ばれるわけではないので、たとえ村民が村長を「選んだ」としても、党支書のほうが権力を持つるのであるから、村の行政機構の説明責任はまったく機能しないことになる。

この選挙はどのように行われているのか。その実像は将来中国が民主政体に転じられるかどうかを占うものとして内外から注目されている。筆者は昨年一年間、中国各地で農村選挙の実地調査を行った。その過程で、中国的農村選挙が民主主義国の選挙の概念からかけ離れていた実態をしつぶさに見ることになった。

（仮名）に、どういう選挙運動をしたのか聞いてみた。答えは、「何もしなかった」。ここのでも、選挙を通して執政者区に程近い貧しい農村である。前回の選挙で当選した村長（村民委員会主任）の王氏（河北省のD村、内蒙古自治区）の基本ではなかつたか。

©中国农村村民自治信息网



小さな農村では村民全員がお互いに知り合い。選挙も形だけのものになりがちだ